



今年度も、残すところ約1ヶ月！

早いもので本年度も残すところあと1ヶ月余りとなりました。本年度、最後となった2月の参観日の内容は、1年間のまとめとしました。参観授業では、これまで学習したことの発表もしました。また、学級懇談では、子どもの成長を担任と保護者で確かめ合い、進学、進級に向けての願いや成長への思いをふくらませたところです。残り約1ヶ月間の学校生活と家庭生活を充実させ、今年度を締めくくりたいと思います。

< 手作り凧揚げ会 >

< 市環境フェア >

< 新入学児童保護者説明会 >



校長主催の手作り凧揚げ大会をしました。適当な風のある日に走らないで揚げる凧揚げをしました。「高く上がりすぎで賞」(龍之介さん、ほのかさん、ことめさん)「デザイン賞」(あすなさん、ひなたさん、なみとさん)「走り賞」(力也さん、あずみさん)が決定しました。来年も楽しみです。



2月3日の環境フェア(市文化センター)で、本城小の4年生4名が本城の環境について発表しました。大変、評判がよく、全校児童に対しても発表の場をもつことにしました。休み返上で、自発的に参加したことは、本人たちにとっても貴重な経験になったことだと思います。とても分りやすく立派な発表でした。



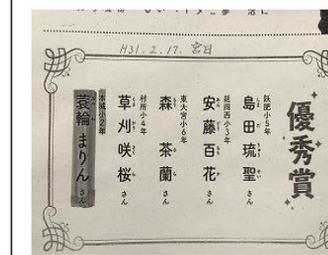
新年度より本城小へ入学してくる5名の児童のための新入学児童保護者説明会を行いました。児童は、1・2年生と読み聞かせ等の活動を行い、保護者には、本城小について説明をしました。元気な新入生の入学を楽しみにしています。

複式学級へ設置の可能性

小規模校の特色と複式学級の可能性

本校では、小規模校の特性を生かし、多くの児童に賞賛の場(作品展等)づくりに積極的に取り組んでいます。(右は、宮日ジュニア展入選の5年生荒山ひとみさんと宮日エコノコみやざき優秀賞の2年生:箕輪まりんさん)また、宮日新聞の「若い目」にも今年度は、これまで17名の児童の作品が掲載されました。子供たちの自信に繋がっていることだと思います。他にも、対外的な行事において多くの児童が活躍してくれています。しかし、児童数減少傾向は進んでおり、本校も今年度はぎりぎり単式学級で運営できましたが、次年度は、転出者が出る予定なので、**3・4年生と5・6年生が複式学級**となる可能性が高まってきました。複式学級には複式学級の良さが見いだせるのですが、大規模校にはない現在の恵まれた環境が継続できなくなるのは残念です。これも時代の流れなのかもしれませんね。(HPでも紹介中)

5年 荒山瞳さん



< 7月の主な行事 >

Blank dashed-line box for listing main events for July.

小規模校のよさ⇒

**1人1人に目が
いき届く教育**

① **賞賛の場**

- 学校内・学級内・授業(児童の**100%**)
- 対外的
(入賞21・学校代表20・便り20・新聞13+11等)

現在(半年)で児童の70%

② **トラブル**⇒(最終的に解決。過程が大切)